

4 障害者就労支援・雇用促進啓発事業（市提案）（特定非営利活動法人地域生活サポートまいんど、市民健康課）

Q この事業の目的はイベントの実施ではなく、就労支援だと思うが、休日に開催して企業関係者が15人も来たのはすばらしい。そのうちアンケートに3人が回答しているが、その会社とその後コンタクトをとったか。今後につなげたという効果を前面に出した報告をしてほしい。

A（団体）アンケートに答えてくれた参加者の会社には、その後会社訪問につなげることができた。

Q 参加し、楽しいイベントだったが、看板などに「協働事業」と謳っていなかったのも、必ず「協働事業」ということを載せてほしい。

事業の成功は、7回も打ち合わせをした成果だと感じた。成果に対して予算が低かった印象を受けた。イベント後の動きはどうだったか。

A（団体）名刺交換し、会社訪問へつなげることができた。

Q 今回単発の事業で、他の講演会のような事業でもこのような形で協働できるとよいと感じた。協働してみて感じた工夫や改善点について教えてほしい。

A（団体）「協働事業」であったという点のアピール不足と、役割分担の中で広報に改善点があったと思う。

（担当課）キャッチフレーズなど、行政だけでは出てこない発想が大変よかったと感じている。課題としては、予算など事業の継続性が難しい点である。